

# ロータリーの基礎知識

## ロータリー用語解説

国際ロータリー第2510地区 2023-2024年度  
千歳セントラルロータリークラブ  
クラブ研修・細則検討・新会員研修委員会  
委員長 坂井 治  
2024.03.12

## ロータリーの基礎知識

### ・メイクアップ (Make-up)

ロータリーの三大義務の一つに例会出席と言うのがあります。

やむを得ず例会を欠席した時その欠席分を補填しなくてはなりません。

その時にメイクアップを使います。

年度末までに（7/1～翌年6/30）別のRCの例会か他の所定の会合に出席すれば、自己の会員身分を守り、出席の補填を受けることができる。

別のRCでメイクアップした場合、訪問先のクラブ幹事から「訪問ロータリアン報告用紙」（ハガキ）にメイクアップの旨記入され、所属クラブに送付される。（実際はその時に手渡されることも多い）

また例会以外のクラブ行事（メイクアップ対象事業の場合）やロータリーの各種大会や会合に参加した場合もメイクアップになる。

### ＊三大義務 例会出席、会費納入、ロータリー誌の購読

#### ・ニコニコボックスの本来の目的

例会場で会員が自由意思で善意の寄付金を入れる箱。日本のロータリー特有のもので、会員、家族、事業などの慶び事、お祝い事をニコニコしながら披露し、慶びを分かち合う。また失敗したり、迷惑をかけた時もユーモアたっぷり苦笑し、例会を賑わせて親睦を増進し、集まったお金は奉仕活動資金に使用される。

#### ・空港募金箱の目的

募金箱には「救いを必要とする子供たちのために」と日本語以外に4か国語で書かれています。（英語、台湾語、中国語、韓国語）

#### ・例会セレモニー時に立つ方向

国歌斉唱⇒国旗に向かって立つ

ロータリーソング斉唱⇒ロータリー旗に向かう

（クラブによって三役席があるときは三役は会員と向かい合うこともある）

#### ・例会場に国旗を掲揚するわけ⇒戦時中、ロータリーは休止に追い込まれていたが活動を継続したいメンバーが国旗を掲揚して敵性の会合ではないということを証明して例会を継続したときの名残り。

日本以外の国々では例会場に国旗の掲揚をするところは稀である。

### ・クラブ会長

RC細則に従って会長に就任する日の直前18ヶ月以上2年以内にクラブ年次総会で選挙される（この時点では会長ノミニー）

- ・会長エレクト

後任の会長ノミニーが選出された時にエレクトになるが就任までに地区の行う PETS（会長エレクト研修セミナー）に参加しなくてはならない。

- ・会長ノミニー

総会で選出された時点で会長ノミニーとなり、後任者が選挙で選ばれた後、会長エレクトの役職名が与えられる。

就任直前の1年間は理事会のメンバーとなる。

- ・SAA（会場監督）の役割

例会をはじめすべての会議(国際大会・国際協議会・地区大会・地区協議会など)が、楽しく、秩序正しく運営されるよう、つねに心を配り、気品と風紀を守り、会合がその使命を発揮できるように設営、監督する責任を有する人。

クラブの会長、幹事と並んで役員としての地位が与えられ、極めて重要な存在である。理事会メンバーであってもよいし、なくてもよい。

- ・委員長の役割

委員会運営を委員長がすべて行うことがあるが委員会を開催すべきである  
最低限年度初めに会長、幹事を招いての委員会も開催すると良い

## RI（国際ロータリー）関連

- ・ガバナー (Governor)

ガバナーはR I 理事会の一般的な指揮、監督の下に職務を行うその地区におけるR I の役員である。

- ・千歳セントラルロータリークラブは 2510 地区（北海道南西部）第7グループに属する

**\*2510 はニーゴーイチマルではなくニセンゴヒャクジュウと読む**

- ・第7グループから輩出された過去のガバナー

千歳 RC 故佐藤秀雄氏、福田武男氏

- ・ガバナーエレクト

次年度のガバナーに決まっている人。

- ・ガバナーノミニー

その翌年のガバナー予定者

- ・ガバナー補佐

2510地区は69のクラブがあり12のグループに分けられている。

それぞれのグループから一名選出されそのグループを担当してガバナーを補佐する役割を担いガバナーとクラブの連絡調整などに当たる。

また IM（インターシティーミーティング＝都市連合会）を主催してグループ内のクラブを相互の研修や親睦を図る。

・セントラルから輩出のガバナー補佐（以前は分区代理として高塚さんが就任）  
和田、羽芝、坂井、田口の 4 名がガバナー補佐、次年度は四方会員が就任予定

### ＊分区代理

グループと言われる前は分区と言われていてその分区内のクラブを統括する役割を担っていた。

分区内のクラブの意見などを取りまとめてガバナーに意見を伝える役割などがあつた。  
また IM（都市連合会）の開催を行った。

## 地区

### 地区の会合

- ・会長エレクト研修セミナー（PETS）
- ・ガバナー補佐会議
- ・地区チーム研修セミナー
- ・地区大会など

- ・ P E T S (Presidents Elect Training Seminar)

会長エレクト研修セミナー。

3 月中に開催される 1 日半のセミナーである。

その目的は次期クラブ会長がその任務に備えて準備することである。

P E T S への参加者としては、ガバナー・エレクト、ガバナー補佐、地区研修リーダー、地区内の次期クラブ会長全員が含まなければならない。

- ・地区研修協議会（会長、幹事、5 大奉仕委員長）

ロータリー財産セミナー、米山財団セミナーなども併催される

### その他組織他

- ・インターアクトクラブ

奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相互に活動する機会を青少年に与えるために結成される。

入会できるのは年齢 12 歳から（日本では高校に在学中の生徒） 18 歳までの若い人である。

- ・ローターアクトクラブ

本来はインターアクト卒業後の受け皿として結成されたがインター⇒ローターと言う

流れが出来ていない。

- ・ローターアクトクラブはR I の正式な会員となり自立した組織となった。
- ・ローターアクトクラブは、18 歳以上の男女が集まって、地域社会のリーダーと意見交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを育みながら、楽しく奉仕活動を行う。
- ・ロータリーとローターアクトの会員は、世界各地で奉仕を通じて共に行動しています。

- ・RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）

地域社会の次世代のリーダーがつながり、アイデアを広げ、行動を起こすきっかけを生み出すのが、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」(Rotary Youth Leadership Awards、通称「RYLA」) のイベントです。

- ・ポリオ・プラス(Polio Plus)

ポリオ・プラスは、R I の特別プログラムであり、撲滅の証明が達成されるまで、他のすべてのプログラム以上に優先される。

ポリオ・プラスの目標は、ポリオ撲滅の世界的証明である。ポリオ・プラス・プログラムは、ロータリーがポリオ関係の活動に数年間参加した後、1985 年に発足した。

1988 年までに、ロータリアンは米貨 2 億 4,000 万ドル以上を集め、多数のボランティアを動員して世界中の大規模な予防接種キャンペーンとポリオ撲滅運動を援助した。

ロータリーがきっかけとなり、1988 年の世界保健総会でポリオを世界的に撲滅するという決議が採択された。

- ・ポリオとは

ポリオ（急性灰白髄炎）は脊髄性小児麻痺とも呼ばれ、ポリオウイルスによって発生する疾病です。名前のおり子ども（特に 5 歳以下）がかかることが多く、麻痺などを起こすことのある病気です。

主に感染した人の便を介してうつり、手足の筋肉や呼吸する筋肉等に作用して麻痺を生じることがあります。

日本におけるポリオは、1940 年代頃から全国各地で流行がみられ、1960 年には北海道（夕張市）を中心に 5,000 名以上の患者が発生する大流行となった。

- ・ワクチン接種の効果

ワクチン接種により、99%の方が十分な抗体を獲得すると報告されています。

世界数か国に依然としてポリオが流行している地域があります。パキスタンやアフガニスタンなどの南西アジアやナイジェリアなどのアフリカ諸国です。

それらの国にワクチンの投与をするための費用を募金活動で賄います。

千歳セントラルロータリークラブの歴史や活動についてはクラブホームページ

ジに詳細に掲載されていますのでご覧ください。

千歳セントラルで検索すると出てきます。

会員専用ページへのアクセスには ID とパスワードが必要です。

## 参考資料

5大奉仕のそれぞれについている〇〇奉仕という言葉の意味を取り違いやすいので参考までに。

元々「〇〇サービス」と言う英語を日本語に翻訳したときに奉仕と訳した。

奉仕と言うと無償の奉仕と思われがちだが **SERVICE** 本来の意味を見るとそうではないことがわかんと思う。

難しいのが職業奉仕だが自分の職業を生かして無償でボランティアをするのではない

サービス業というと、接客業のことであると考える人も多いかもしれませんが。接客業は、サービス業の一つで、顧客と直接コミュニケーションを取り、もてなす仕事です。サービス業とは、接客業を含め、形のないサービスを提供する業務すべてを指します。

サービス業には9つの種類がある

情報通信業

運輸業、郵便業

不動産業、物品賃貸業

学術研究、専門・技術サービス業

宿泊業、飲食サービス業

生活関連サービス業、娯楽業

教育、学習支援業

医療、福祉

サービス業（他に分類されないもの）

### ※参考

日本標準産業分類